

C3「リスクアセスメントの実践、リスクの低減」講習会

リスクの見積り、リスクの評価と本質的安全設計方針

1. ねらい

本講習会は、機械の設計技術者と品質保証管理者に学んで頂きたい技術を盛り込んだ機械安全の基本講座です。機械ユーザの生産技術の技術者および安全担当の技術者にも有益ですので受講をお薦めします。C1（機械安全原則）とC2講習会（リスクアセスメント方法論、実施、危険源の種類と同定）を履修されていることをお薦めします。単独の講座としても受講できます。

機械のリスクアセスメントの国際標準に沿ったリスクアセスメントの手順を講義します。リスクの要素、評価を具体的に・分かり易く解説します。リスクの大きさを適切に見積もることを学びます。そしてツールを利用してリスクの大きさを求めます。

機械のリスク低減方針は3ステップメソッドと呼ばれる国際規格ISO 12100に示される手順が世界的に広く採用され、厚労省の機械の包括的な安全基準に関する指針にも示されています。本講座では第1ステップの本質的安全設計方針、危害のひどさは設計によって除去あるいは小さくする方針を学びます。規格を実務に役立つように事例を多数含めて具体的にそして平易に解説します。

2. 開催日と場所および定員

- 開催日 6月8日(水) 受付:9時15分(接続開始 9時00分)
- 開催場所 オンライン
職場の自席、リモートワーク場所、別室、など
- 定員 20名

3. プログラム

時刻	時間 (分)	講義 No.	内容	講師、備考
9:30 ~ 9:40	10		オリエンテーション	
9:40 ~ 10:10	30	1	第1章 リスクの要素 危害のひどさの見積り、危害の発生確率の見積り	
10:10 ~ 11:00	50	1	第2章 リスク見積りツール リスクマトリックス法、加算法・乗算法、リスクグラフ法	
11:00 ~ 11:10	10		休憩	
11:10 ~ 11:50	40	2	第3章 リスクの評価と検証	
11:50 ~ 12:50	60		昼食・休憩	
12:50 ~ 13:10	20	3	第4章 リスク低減方式の概要 リスク低減のための方法論の概要	
13:10 ~ 13:50	40	3	第5章 本質的安全設計方針(1) 危険源を設計によって除去する	
13:50 ~ 14:00	10		休憩	
14:00 ~ 15:00	60	4	(同上)本質的安全設計方針(2) 危険源を設計によって除去する 制御システムへの適用	
15:00 ~ 15:10	10		休憩	
15:10 ~ 16:20	70	5	(同上)本質的安全設計方針(3) 人間工学とヒューマン・マシン・インターフェース 基本安全原則と十分吟味された安全原則	
16:20 ~ 16:30	10		終了・退室	

本講習会Cコースは、厚生労働省通達「機械安全に関する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム」を完全に満たしています。

* C1,C2,C3,C4,C5の全講座の受講者に受講証明書(出席を証する文書の提出があれば修了証)を発行します。

4. 講師 当会講師

5. 受講お申込みと受講費用

ホームページよりお願いします。 <https://d-sostap.or.jp/apply/>
 会員 16,500円(税込) 一般 22,000円(税込)

お問い合わせ	一般社団法人安全技術普及会 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email info@sostap.org ホームページ http://www.d-sostap.or.jp/
--------	--